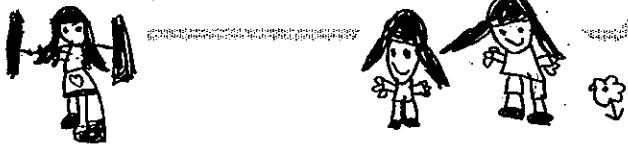


ママがぬれちゃう

2歳児

保育者 「雨が、降ってきたね  
お外に行けないね」

あやこ 「たいへん！ママが雨にぬれちゃう！」



かってにきめんといて！

4歳児

たくみちゃんが好きなキャラクターの載っている絵本を見ている。

あかね 「みせてー」

たくみ 「あかねは、おんなやからあつちの本みとき！」

あかね 「そんなん、たくみがかってにきめんといて！」

キャラクター、色、服、あそび等色々なものを男の物、女の物とまわりから決められることに対して、自分のことは自分で決めたい あかねちゃんが言った一言でした。



バンバンはいややな

3歳児

ブロックで遊んでいる時、鉄砲を作って友だちに向けて「バンバン」と撃つ しろうちゃん

だいご 「ブロックでバンバンしてくる～」

しろう 「これ バンバンちゃうやー 水でつぼうやでー」

だいご 「水でつぼうでも バンバンされるのは なんかいややな・・・」

だいじょうぶやで

1歳児

あつし 転園1日目で不安いっぱい泣いている

そうた 顔をのぞきこんでそーっと頭をなでる

たける うしろから背中をとんとんして顔をのぞく  
保育者のところへ行ってひざに座りながら、  
他の保育者に抱かれているあつしに手をふる



そんなときもあるよね

5歳児

ゆりちゃんが、嫌なことがあって泣いています。  
心配して、数人の女の子が集まりました。

なな・りこ・めい 「だいじょうぶ？」

ゆり 「……」 しばらく黙っている

なな・りこ 「なんやねん」 待ちきれず離れていく

ゆり 「……」

めい 一人だけ離れず ゆりの頭をなでている

めい 「そんなときも あるよね  
みんなおんなじだよ」



あきちゃんだ

0歳児

生後5か月のあきちゃんが、みんながいるカーペットのところにねころんでいた。

あき 友だちが周りにはいる雰囲気を感じて、嬉しそう

よりと あきがいることに気づき、ハイハイでそばに行く  
自分の顔を近づけて

「パーー」と笑顔

あき 嬉しそう



第24回  
子どものつばやき  
平成29年度(2017年度)



21世紀を になう子どもたちに

次代をになう子どもたちが、生き生きと、健やかに育ち、力を合わせて明るい未来をつくりあげてくれることを誰もが望んでいます。しかし、世界はもちろん、日本においても様々な差別に苦しみながら生活をしている子どもたちがいます。「子どもの権利条約」にみられるように、子どもが一人の人間として尊ばれ、よりよい環境の中で成長・発達できるようにしていくことが重要な課題となっています。

豊中市では、平成25年(2013年)4月に「豊中市子ども健やか育み条例」を制定し、子ども一人ひとりが健やかに育ち、そして、子どもや子育て家庭に関わる全ての人がつながり、社会全体で子どもを愛情深く育む地域社会の実現をめざしています。

就学前施設では、「豊中市人権保育基本方針」にもとづき、一人ひとりの子どもの人権を大切にすることを基本に、すべての子どもに豊かな感性を育てお互いを大切にする心を培い、人権尊重の基礎的な資質を養うことをめざした人権教育・保育をすすめています。

「子どものつばやき」は、人権教育・保育の中で大切にしてきた取り組みの一つです。





### 「つぶやき」ってなあに

子どもたちは、日ごろから友だちや大人と関わって遊び、生活する中で「うれしいこと」「悲しいこと」「驚いたこと」「腹が立つこと」「求めたり望んだりしていること」など様々なことを感じ、表現しています。

このような子どもたちの「思い」を表現したものを、言葉だけでなく、しぐさ・動き・表情などを含めて、「つぶやき」としてとらえています。



### 「つぶやき」とおして

公私立こども園・民間保育所(園)・児童発達支援センターなどの就学前施設では、「つぶやき」とおして、子どもの生活や友だちへの「思い」をしっかり受け止め共感するとともに、周りの友だちに伝え広げていくことを大切にしてきました。

このことは仲間とともに生きる子どもを育み、さらには、一人ひとりの子どもの人権を守ることに繋がっていきと考えています。

子どもの姿や思いを私たち大人がしっかりとらえ、教育・保育を見直しながら、子どもたちの人権についてこれからも考えていきたいと思えます。

ここに紹介している「つぶやき」は、「平成29年度(2017年度)子どものつぶやき展」で展示している「つぶやき」です。



子どもの「つぶやき」は  
明日への期待がいっぱい



### きもちをひとつに

5歳児

運動会に向けてリレーをしている時、これまでずっと負け続けていたBチームが初めて勝つことができた

しげる 「れんくん どうしたん？」  
れん 「なんか なみだでてきてん」  
かな 「はじめてかったから...うれしいやんな！」  
しげる 「れん みてたら なんかほくも なみだでてきた」  
れん 「みんなで いっしょに がんばったからやな つぎもがんばろう！」



### こうやってみ！！

3歳児

おやつ時、パンの袋が開けられなくて困っていました。

かいる 「あけない～」  
しゅうじ 「あけたるか？」  
ようこ 「かいるちゃん自分であけるから、あけ方教えてあげたらいいねんで かいるちゃん、ここと、ここをこうやって持って～」  
自分のパンの袋でやって見せる  
しゅうじ -ようこ 「かいるちゃん がんばれ！」  
かいる 「ん～あけない～」  
ようこ 「ちがう ちがう こことここをこうやって ひっぱって」  
かいるのパンの袋と一緒にやってみせる  
しゅうじ 「あっ あいた！！」  
ようこ 「あいたやん よかったな」



泣きたいときは泣いたらええやん

4歳児

リレーの活動の時に、負けて泣いている えいとちゃん

ぶんた 「男のくせに泣いたらアカンで」  
みき 「そーやでー」  
だいち 「なんでなん 男やってリレー負けたらくやしいやん 泣きたいときは泣いたらええやん」  
みき 「そやな 男やって泣きたいときは泣いたらええやんな」  
だいち 「うん またえいとちゃんががんばろうな」  
えいと 「うん」



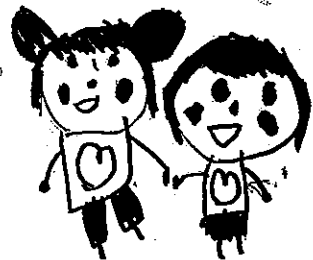
### おともだちはどこ？

1歳児

ひさしちゃんが9月末で他の園に転園しました。

あみ 「せんせい、ひさしちゃんはおやすみ？」  
保育者 「別の保育園に行ったんだよ」  
あみ 「ひさしちゃん いすないね ひさしちゃん あしたくる？」  
保育者 「明日もひさしちゃん来ないんだよ 他の保育園であそんでいるよ」  
あみ 「もうこない？」  
保育者 「さびしいね」  
あみ 「さびしいね・・・」

小さくても友だちのことを思う姿から、友だちの存在の大きさを感じました。





## ピンク色が好きでもいいやん

5歳児

制作活動をしていて、自分の好きな色の紙を選んでいる時

- 保育者 「ゆうじちゃん、どうしたん？」  
 ゆうじ 「さとしちゃんが、たたいたあ」  
 さとし 「だって『ピンクやってー』って ゆうじちゃんが  
 わらうからや」  
 りゆうじ 「おとこのこだって ピンクをえらんでもえーで」  
 さやか 「もしかして おんなのこはピンクのふくをきてるこ  
 がおいから おんなのこみたいて、おもったん  
 ちがう？」  
 りゆうじ 「だってなー りゆうじのパパはピンクだいすきやで  
 おとこのこでもピンクがすきでもいいやん」



## ぼくもして～

0歳児

自由あそびの時、けんちゃんは絵本を見ていました。  
 近くでのぞいていたせりちゃん。ともちゃんは二人のやりと  
 りを見ていました。

- けん 食べ物の絵本を見ている  
 せり “あ～ん”と口をあける  
 けん 食べさせるように手を口元へ  
 せり “ばくっ”笑う  
 とも 近づいてきて“あ～ん”  
 けん ともにも食べさせる  
 とも 口をあけて 笑う けんも 笑う

友だちへの関心が広がり、なにをしているのかな？とそ  
 ばに寄ったり、友だちとおなじことがしてみたいという気持  
 ちが育ってきています。



## よこゆれがすきな

1歳児

滑り台の上にタオルを乗せて上下に滑らせて遊んでい  
 ました。横揺れのタオルブランコではないのでいつもの  
 揺れと違うなーという表情のふみかちゃん。

- ふみか 「ヴィーッ」と声を出して怒る  
 保育者 「いつものタオルブランコしようか」  
 「小鳥がきてチュンチュンチュン～」と歌い  
 ながら横に揺らす  
 ふみか にこにこ笑顔

自分のしてほしい気持ちを声や表情で教えてくれま  
 した。

## ママがケータイしているとき

3歳児

子どもたちがブロックを携帯に見立てて遊んでいる時、  
 担任のところまで来て伝えてくれました。

- ゆき 「あんな ゆきのママ ラインしているとき  
 ゆきがしゃべっても『あっそう』しか  
 言わへんねん」



## いやや

4歳児

『へいわってすてきだね』の絵本を見た後で

- なつみ 「ママがいなくなったら さみしい」  
 あみ 「家族が死んだら かなしい」  
 なつみ 「戦争は 上(空)から 爆弾が落ちてくるから  
 いやや」  
 あみ 「いやや」



## しずくちゃんのこと大好き

2歳児

給食のテーブルについている時

- まひる 「しずくちゃんて、ともだちいないよなあ・・・」  
 保育者 「そんなことないよ ともだちいるよ」  
 せり 「せりのともだちは、すばるちゃん」 兄の名前を言う  
 保育者 「まひるちゃんの ともだちは、だあれ？」  
 まひる 「……」 はにかんで、しずくちゃんを見ている  
 保育者 「しずくちゃんのともだちは まひるちゃん？」  
 まひる 「そうやで！！」と、嬉しそうに言う まひるちゃん



## みんな うんち

3歳児

かぶとむしの幼虫の成長を見ようと、飼育ケースの土をひ  
 っくり返した時のこと。

- ひろき 「うわあ うんちがいっぱいや」  
 体をそらせて逃げるようなしぐさ  
 こうた 「大丈夫やで 土食べるから くさくないで」  
 まなみ 「そうやで それに食べるから うんちするんやで」  
 こうた 「ぼくらも うんちするもんなあ」  
 まなみ 「そうやな うんちするなー」

3人で笑う

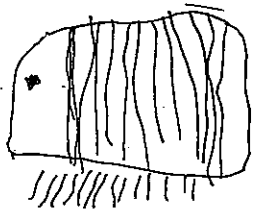


魚さんよろこんでいる？

2歳児

給食を食べている時

あ い 「魚さん食べたらかわいそう・・・」  
 保育者 「魚はね みんなの骨を強くするんだよ」  
 あい 「骨 つよくなるの？」  
 少し考えてから  
 「骨 つよくなる」  
 ともや 「ほくも 骨 つよくなる」  
 あ い 全部きれいに食べてから  
 「魚さん 喜んでる？」  
 保育者 「うん 全部食べてくれてありがとうって喜んでるね」

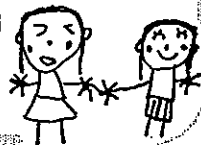


もう、かってに決めんといてや

5歳児

運動会に向けやってきた踊りの位置決めをしている時

保育者 「〇〇グループは、こっちにしよう」  
 まさみ 「もう、かってに きめんといてや」  
 保育者 「ごめん、そうやね。どうしたい？」  
 まさみ 「どうする？」  
 (グループの友だちに聞く)



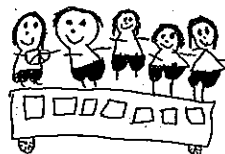
仲間と

つながっていこうとする姿

けんたちゃんおいでー！！  
はやくはやく

2歳児

園庭で友だちの後ろにつながって電車遊びをしていた時  
 保育者 「ハイ、うさぎぐみ電車出発します」  
 けんたが、まだ来ていなかった  
 ちい 「けんたちゃん、おいでー はやくはやくー」  
 1番うしろに並んで、ぐつとふんばって  
 進まないようにしている  
 けんた 靴をはいて走ってる  
 ちい お尻を突出し、けんたがつながりやすいようにしている  
 けんた つかまり、嬉しそうにしている



まてたよ～！！

1歳児

保育室からホールへ遊びに行くことになり、もこちゃんも担任とハイハイをして、ゆっくりホールに向かっている。

保育者 「みんなホールに行つてなにしてるかな～？」  
 もこ ホールの方を指さして笑い、ハイハイして友だちの後を追いかけ、ホールのドアのところに着く  
 しょうへい 両手を広げて待っている  
 保育者 「待っててくれたの？うれしいね！」  
 もこ 嬉しそうに笑って、ぎゅつと抱き合う  
 しょうへい



いっしょに泣いたらっか？

3歳児

ブロック遊びをしていた せいじちゃんが、違うあそびをはじめる。せいじちゃんが使わなくなったブロックで遊びはじめた えりなちゃん。しばらくしてそこへ戻ってきた せいじちゃんが、ブロックを強引にとりあげる。

えりな 大声で泣く  
 あや・こうじ 「どうしたん？」と顔をのぞきこむ  
 あや 「どうしたん？せいじにとられたん？」  
 えりな 「うん」  
 あや 「せいじ あかんやん！」  
 こうじ 「いっしょに泣いたらっか？」  
 あや 「ちやうって！（えりなちゃん）  
 もっと大きな声で『かえして』って 言い！」

友だちに話を聞いてもらい気持ちがほっこりしたえりなちゃん。せいじちゃんからもおもちゃをかえてもらい泣き止んで遊び始めました。



やっぱ さんにんでいこう！

3歳児

ホールから保育室へ戻る時

はなこ 「まるこちゃん、いっしょにいこう！」  
 まるこ 「たろうちゃんが まることいっしょにきたいっていってるからあかん。あしたでもいい？」  
 はなこ 「・・・」  
 まるこ 「やっぱ さんにんでいこう！」

しばらくして3人で手をつないで保育室に戻っていきました。

おへそここにあるで

2歳児

『つながっている！いのちのまつり』という絵本で、へその緒の話を見ている時

みほ 「みほのおへそ ここにあるで」  
 保育者 「ほんとやね みほちゃんのおへそあるね へその緒で赤ちゃん和妈妈がつながってたんやって」  
 みほ 「ふーん・・・ すごっ！」  
 保育者 「みほちゃんもママとつながってたんかなあ」  
 みほ 「・・・ママに聞いてみるわ！」